



①親子の部がスタート！ 一斉に走り出す  
②ランナーたちが給水所を通過、カメラに向かってピース  
③イチゴを手に記念撮影

旭市飯岡しおさいマラソン大会が2月1日に開催。市内外から訪れた3,506人のランナーたちが、海辺のコースを駆け抜けました。

イチゴの配布やお囃子の披露がコース各所で行われ、ランナーたちを「おもてなし」。メイン会場のいいおかユートピアセンターでは、お汁粉や豚汁などが振る舞われたほか、市の特産品が当たる抽選会も行われ、賞品を手記に記念撮影をする参加者たちの姿がありました。



3、506人が参加！

潮風と共に駆け抜ける

第26回旭市飯岡しおさいマラソン大会

### 種目別 8 位以内 (市内在住者)

※敬称略

| 種 目  | 順位   | 氏 名          | タイム            | 種 目  | 順位 | 氏 名    | タイム               |
|------|------|--------------|----------------|------|----|--------|-------------------|
| 2 km | 市内親子 | 1 根本洋・莉有     | 7'44"          | 5 km | 女子 | 39歳以下  | 7 石毛鈴江 20'59"     |
|      |      | 2 伊藤秀樹・高木悠二郎 | 7'49"          |      |    | 40歳以上  | 2 宮内幸恵 22'31"     |
|      |      | 3 佐々木啓行・颯    | 8'16"          |      |    |        | 3 来栖美春 22'49"     |
|      |      | 4 石毛芳文・伊藤優璃  | 8'19"          |      |    |        | 6 加瀬厚子 24'43"     |
|      |      | 5 古瀬洋平・将馬    | 8'26"          |      |    |        | 7 加瀬美恵子 25'05"    |
|      |      | 6 伊藤敬一・広翔    | 8'35"          | 10km | 男子 | 39歳以下  | 3 横山直矢 34'53"     |
|      |      | 7 仲森義哲・央     | 8'37"          |      |    | 60歳以上  | 7 花澤明日斗 36'27"    |
|      |      | 8 永田光喜・陽色    | 8'53"          |      |    |        | 2 鎌形昇 40'11"      |
| 3 km | 男子   | 小学生          | 5 高尾啓太郎 11'11" |      |    |        | 8 飯島敏夫 45'58"     |
|      |      |              | 7 加瀬智也 11'14"  | 女子   |    | 39歳以下  | 1 鈴木美稀 40'33"     |
|      | 女子   | 小学生          | 8 大森陸登 11'31"  |      |    | 40歳以上  | 4 藤ヶ崎朱音 44'04"    |
|      |      |              | 8 加瀬愛海 12'09"  |      |    |        | 5 鈴木なえ子 48'30"    |
| 5 km | 男子   | 中学生          | 8 林裕太 17'41"   |      |    |        | 6 家鍋ふく子 48'36"    |
|      |      | 39歳以下        | 4 仲森秀斗 16'09"  | ハーフ  | 男子 | 40～59歳 | 5 八木克祐 1° 18'37"  |
|      |      |              | 6 中原陸斗 16'18"  |      |    | 60歳以上  | 3 武田徳光 1° 32'43"  |
|      |      | 40歳以上        | 7 花澤淳 18'24"   |      |    | 39歳以下  | 5 天野かおり 1° 33'32" |
|      | 女子   | 中学生          | 3 石橋滝乃 20'10"  |      |    |        | 8 松井あゆみ 1° 40'42" |
|      |      |              | 4 高根万由子 20'12" |      |    | 40歳以上  | 3 神田知恵子 1° 37'20" |

※全記録をテクノプラン(株)のホームページ(<http://tecnoplan.co.jp/>)で見ることができます。



①歌う八代さんのバックには、旭市を訪れたときの様子が  
②ホウボウ、イチゴが振る舞われた(左から3番目が山本さん、4番目が八代さん、6番目がマギーさん)

## ハートフルミーティング I N旭

# 東日本大震災からの復興支援、旭の魅力を再発見するステージ

**演** 歌手の八代亜紀さん、手品師でタレントのマギー審司さん、NHKアナウンサーの山本哲也さんをゲストに、ハートフルミーティング I N旭が2月11日、東総文化会館で開催。ステージでは、3人が市内の被災者を訪ねたときの様子を振り返ったほか、旬の食材をPRしたり、歌謡ショーなどが行われたりしました。

この様子は、3月4日の午前11時5分～11時54分にNHK総合「ひるまえほっと」内、3月8日の午前11時～11時50分にNHK-FM「八代亜紀こころひとつに～歌が奏でる復興の足音 千葉県旭市～」で、放送される予定です。



## NHK-FM「吹奏楽のひびき」公開収録

# 吹奏楽の「魅力」を体感

NHK-FMで放送されている吹奏楽のひびきの公開収録が、1月24日に東総文化会館で行われました。この日は指揮者に吉田<sup>きようち</sup>行地さん、奏者に東京吹奏楽団が登場し、数々の楽曲を披露。演奏が終わると、観覧者の一人は「素晴らしかった。最高です」と話していました。

この様子は2月にラジオ放送されたほか、3月25日の午前6時～6時55分に、NHK・BSプレミアム「クラシック倶楽部」で放送される予定です。



吉田さん(指揮・中央)と東京吹奏楽団による演奏

## 津波避難タワー完成・公開

# 緊急時の備えが新たに2基



最上階で説明を受ける人たち(飯岡)



避難タワーの外観(富浦)

**飯** 岡地区と富浦地区に、整備を進めていた津波避難タワーが昨年末に完成。付帯工事が終わり2月10日と22日、近隣住民に公開しました。

構造は共に鉄骨造りで定員100人。避難する際は扉を打ち破って解錠し、階段またはスロープで上るようになっています。くわしい場所などは次のとおり。

**飯岡地区**／●場所：飯岡2164-1(消防署飯岡分署跡)

●最上階の海拔：13.9m **富浦地区**／●場所：神宮寺1797-5(県道飯岡一宮線沿い) ●最上階の海拔：12.6m

## 高齢者叙勲

### 瑞宝小綬章

(教育功勞)

鳥飼顯照さん 88歳(ロ)



昭和26年に公立学校の教員として着任して以来、県立高校長で退職されるまでの37年余にわたり、教育行政をはじめ学校教育など、多方面において教育の振興・発展に尽力されました。

## 1/24 バドミントンのトップ選手が直接指導



指導を受ける生徒たち

生から高校生まで約100人が参加。トップ選手から直接指導を受けました。参加者の一人は「とても参考になった。この経験を試合に生かしたい」と話していました。

実業団バドミントン日本リーグ2014で男女ダブル優勝のNTT東日本チームを招いて、東総地区バドミントン講習会が総合体育館で行われました。この日は、市内外の小学

## 1/28 社会を明るくする運動作文に二人が入賞



賞状を手にする二人(左から宮内さん、飯田さん)

会委員長賞(県知事賞)、嚶鳴小の宮内素樺さん(5年)が旭市推進委員会委員長賞(旭市長賞)に入賞しました。

犯罪や非行のない明るい社会の実現を目指す「社会を明るくする運動」。全国の小中学生にも理解を深めてもらおうと行われた作文コンテストで、海上中の飯田さくらさん(3年)が千葉県推進委員会委員長賞(旭市長賞)に入賞しました。

## 2/1 古くから伝え継がれる演舞を披露



古式ゆかしい衣装で舞いを披露

られています。この日特別に設けられた舞台では、古くから伝え継がれる演舞が披露されていました。

後草の水神社で豊年満作と安全を祈念して、永代大御神樂が奉納。鎌倉時代から続くこの神樂は、12座の演目と稚児舞などで構成され、千葉県の無形民俗文化財にも指定

## 旧食彩の宿いいおか荘貸借契約締結

## 夏までに再オープン予定



契約書を手にするサンライト建設の斎藤会長(左)と市長

東 日本大震災で被災したいいおか荘の貸付先に、香取市のサンライト建設を選定。1月23日に、土地・建物を無償で貸し付けする契約を結びました。今後は改修が行われ、7月18日までに再オープン予定。状況次第では、温泉と昼食の提供を5月から行うそうです。

なおサンライト建設は、被災したいいおか荘の修繕に携わった建設業者。斎藤会長は「このままになるのは忍びないと思っていた」「地場のおいしい物を提供する宿に」などと話していました。

## 旭市観光まちづくり交流会

## 地域の活性化に向け、若者など102人が参加

地 域を元気にする活動に興味のある若者や、それを支援する人々のつながりをつくろうと、旭市観光まちづくり交流会が2月10日、ヒューマンプラザ黄鶴で開催。参加者たちの懇親会に加え「だったらいいな!道の駅」と題し、株式会社ちば南房総取締役の加藤文男さんによる講演

が行われました。

加藤さんは、南房総市の「道の駅とみうら・枇杷倶楽部」の初代駅長を務めた経験から「固定概念を取り除いて、自分たち、地域、観光客に必要なものや仕組みを取り入れていくことが大切」などとノウハウを紹介。メモを取るなどして、講演に耳を傾ける参加者たちの姿がありました。



講演を行う加藤さん